呼吸器用コンプレッサー一式購入

仕 様 書

令和7年度

周南市消防本部

第1章 総則

1 目的

本仕様書は、周南市消防本部が令和7年度に購入する呼吸器用コンプレッサー一式（呼吸器用コンプレッサー、高圧空気容器）の仕様について定める。

2 提出書類

受注者は、納品時に次の指定書類を2部提出すること。

- (1) カタログ等（諸元、性能、製造会社、型式等が記入されているもの）
- (2) 概略図
- (3) 取扱説明書（日本語表記のものに限る）
- (4) 構成品及び付属品一覧表

3 契約範囲

- (1) 受注者は、納品検査時の破損及び故障の修理に要する費用を負担すること。
- (2) 本仕様書に記載がない事項でも、メーカーが公表した仕様は省略しないこと。
- (3) 受注者は納品後、取扱いに関する説明を行うこと。
- (4) 本仕様書に定めのない事項及び契約の履行にあたり疑義が生じた事項については、その都度発注者と受注者が協議し、発注者の裁定に従うものとする。
- (5) 新規の呼吸器用コンプレッサーを納入する時は、周南市消防本部が現有用している呼吸器用コンプレッサー一式を引き取ること。
- (6) 新規の高圧空気容器を納入する時は、納入する本数分を引き取ること。
なお、引き取る本数については、納入前に協議すること。

4 保証等

- (1) 本体及びその他の部品について、日本国内で点検整備（法定点検）ができ、故障発生時は速やかに対応できるサービス体制が確立されていること。
- (2) 保証期間は、メーカーが保証する期間とする。ただし、保証期間後であっても不都合箇所が発生した場合は、双方で協議のうえ、無償で取替えまたは修理を行うこと。

5 納期

令和8年2月27日

6 検収

- (1) 納入時に検収を実施する。
- (2) 受注者は、検収において不備を指摘された場合は直ちに取替え等の必要な措置を講じること。

7 納入場所

周南市新宿通五丁目1番3号 周南市消防本部

第2章 仕様

1 概要

(1) 呼吸器用コンプレッサー

- ア 空気呼吸器用ポンベが充填できるものであること。また、充填用のホースを3本備え付けること。
- イ 本体は、移動式であること。
- ウ 本体を容易に移動させるため、車輪が設けられていること。
- エ 動力はモーター仕様であること。
- オ 本体重量は200 kgを超えないこと。
- カ 高圧ガス保安法の適用外であること。
- キ 空気を清浄化できるシステムが備わっていること。
- ク 空気呼吸器用ポンベを立てて充填（3本程度）できるように、専用のボックスを付属すること。
- ケ 保管時に、粉塵等を避けるための専用カバーを付属すること。

(2) 高圧空気容器

- ア そく止弁のグリップと充填口との角度は約150度とし、充填口の形式はネジで、寸法はW22山9であること。
- イ 容器には保護カバー（上下）を設けること。
- ウ 空気呼吸器本体からポンベを取り外すことなく、標紙（巻き込みラベル）の確認が可能なこと。

2 数量

- (1) 呼吸器用コンプレッサー 1台
- (2) 高圧空気容器 30本

3 主要諸元

(1) 呼吸器用コンプレッサー

- ア 吐出容量 2000/分以上 280 m³/日以上
- イ 充填時間 14.7Mpa (6.0分程度)

29.4Mpa (7.5分程度)

- ウ 対応圧力数 2 (14.7Mpa・29.4Mpa)
- エ 充填口数 3口 (29.4Mpa用2口、14.7Mpa用1口)
- オ 取付動力 3相モーター 4.0kw程度

(2) 高圧空気容器

- ア 材質：カーボン繊維製FRPアルミニウム合金
- イ 内容積：約6.8リットル程度
- ウ 最高充填圧力：29.4MPa
- エ 耐圧試験圧力：49.0MPa
- オ 総質量：6.1 kg程度
- カ 外径：172mm程度
- キ 長さ（そく止弁を除く）：450mm程度
- ク そく止弁取付部：φ37mm以上

4 登録等の代行

- (1) 受注者は、本体にかかる必要な手続き全てを代行し、検査が必要な場合は、合格した後に納入すること。
- (2) 旧本体及び新たな本体納入にかかる梱包材の廃棄は、全て受注者が行うこと。

5 表示

- (1) 呼吸器用コンプレッサー
取扱い手順についての看板を、本体と一緒に納品すること。看板のサイズ、素材、掲示方法等については、本部と協議すること。
- (2) 高圧空気容器
高圧空気容器には、体裁よく「周南消防」と記入すること。また、所有者登録番号「Q087」と記入すること。
- (3) 呼吸器用コンプレッサー及び高圧空気容器には、分かりやすい位置に「令和7年度石油貯蔵施設立地対策等交付金施設」と表示すること。また、表示する文字は見えやすい書体、色とし、その他詳細については、本部と協議すること。